

定期作況報告（最終）

（第7号 令和5年11月20日現在）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《令和4年（2022年）》

11月：平均気温は1.6℃高く、降水量は平年の81%、日照時間は平年の124%であった。

12月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の65%、日照時間は平年の93%であった。

《令和5年（2023年）》

1月：平均気温は1.2℃低く、降水量は平年の84%、日照時間は平年の96%であった。

2月：平均気温は0.9℃低く、降水量は平年の74%、日照時間は平年の106%であった。

3月：平均気温は2.6℃高く、降水量は平年の95%、日照時間は平年の102%であった。

4月：平均気温は1.6℃高く、降水量は平年の198%、日照時間は平年の70%であった。

5月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の51%、日照時間は平年の113%であった。

6月：平均気温は1.6℃高く、降水量は平年の157%、日照時間は平年の105%であった。

7月：平均気温は0.5℃高く、降水量は平年の95%、日照時間は平年の82%であった。

8月：平均気温は2.9℃高く、降水量は平年の79%、日照時間は平年の106%であった。

9月：平均気温は2.5℃高く、降水量は平年の136%、日照時間は平年の92%であった。

10月：平均気温は0.8℃高く、降水量は平年の137%、日照時間は平年の110%であった。

本年の根雪終は3月30日で平年より10日早く、積雪期間は平年より18日短く、耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月25日で平年より7日遅かった（表1）。令和4年11月から令和5年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は5月、7月が平年並で、4月、6月、8月、9月、10月がそれぞれ1.6℃、1.6℃、2.9℃、2.5℃、0.8℃平年より高く、平年を下回る月はなかった。降水量は7月が平年並で、4月、6月、9月、10月が平年136～198%と多く、5月、8月が平年の51～79%と少なかった。日照時間は6月が平年並で、5月、8月、10月が平年の106～113%と多く、4月、7月、9月が70～92%であった。5～9月までの積算値は、平年に比べて平均気温が233℃高く、降水量が2mm多く、日照時間が3時間多かった（表3）。

表1. 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月13日	11月3日	11月30日	3月30日	121	4月24日	4月25日	未観測	10月24日	10月21日
平年	10月9日	10月27日	11月22日	4月9日	139	4月23日	4月18日	5月13日	10月9日	10月26日
比較	4	7	8	△10	△18	1	7	—	15	△5

注1) 本年は2022～2023年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。晩霜は2020年から観測中止。

4) 初霜、降雪始、降雪終の平年は過去10か年の平均値。晩霜の平年は2011～2020年の平均値。

5) △印は平年に比べて早または短であることを示す。

表2. 気象表

年月	旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			降水日数 (日)			日照時間 (hrs)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2022年 11月	上旬	4.6	5.1	▲0.5	8.9	9.3	▲0.4	-0.2	1.2	▲1.4	15.0	35.6	▲20.6	7.0	5.9	1.1	27.3	22.6	4.7
	中旬	3.0	1.7	1.3	7.5	5.6	1.9	-1.3	-1.9	0.6	33.0	38.0	▲5.0	5.0	6.5	▲1.5	31.5	19.5	12.0
	下旬	2.7	-1.3	4.0	6.8	2.1	4.7	-0.5	-5.0	4.5	36.5	30.6	5.9	7.0	7.2	▲0.2	15.2	17.4	▲2.2
平均または合計		3.4	1.8	1.6	7.7	5.7	2.1	-0.7	-1.9	1.2	84.5	104.2	▲19.7	19.0	19.6	▲0.6	74.0	59.5	14.5
12月	上旬	-4.2	-2.9	▲1.3	-1.6	0.2	▲1.8	-7.7	-6.8	▲0.9	15.0	31.0	▲16.0	9.0	6.7	2.3	16.1	14.6	1.5
	中旬	-6.3	-4.5	▲1.8	-3.0	-1.2	▲1.8	-9.9	-9.1	▲0.8	18.0	22.5	▲4.5	8.0	6.9	1.1	14.2	15.2	▲1.0
	下旬	-3.1	-6.6	3.5	0.1	-3.2	3.3	-7.2	-11.2	4.0	17.0	23.8	▲6.8	5.0	8.5	▲3.5	12.6	16.4	▲3.8
平均または合計		-4.5	-4.7	0.1	-1.5	-1.4	▲0.1	-8.3	-9.0	0.8	50.0	77.3	▲27.3	22.0	22.1	▲0.1	42.9	46.2	▲3.3
2023年 1月	上旬	-9.3	-8.0	▲1.3	-5.4	-4.3	▲1.1	-14.6	-13.2	▲1.4	23.0	17.9	5.1	8.0	5.9	2.1	22.7	17.3	5.4
	中旬	-7.9	-8.8	0.9	-2.8	-4.7	1.9	-14.9	-14.2	▲0.7	3.0	12.5	▲9.5	3.0	4.0	▲1.0	22.1	25.0	▲2.9
	下旬	-11.3	-8.1	▲3.2	-7.3	-3.7	▲3.6	-16.8	-13.8	▲3.0	10.5	13.1	▲2.6	6.0	5.5	0.5	25.7	31.4	▲5.7
平均または合計		-9.5	-8.3	▲1.2	-5.2	-4.2	▲0.9	-15.4	-13.7	▲1.7	36.5	43.5	▲7.0	17.0	15.4	1.6	70.5	73.7	▲3.2
2月	上旬	-8.8	-8.9	0.1	-4.4	-4.2	▲0.2	-14.7	-14.9	0.2	11.0	11.2	▲0.2	6.0	4.6	1.4	24.4	29.6	▲5.2
	中旬	-7.4	-5.8	▲1.6	-2.0	-1.8	▲0.2	-14.6	-10.7	▲3.9	11.5	16.6	▲5.1	6.0	5.0	1.0	33.3	30.0	3.3
	下旬	-7.2	-6.0	▲1.2	-0.8	-1.1	0.3	-16.5	-12.1	▲4.4	6.0	10.7	▲4.7	3.0	3.9	▲0.9	39.0	31.4	7.6
平均または合計		-7.8	-6.9	▲0.9	-2.4	-2.4	▲0.0	-15.3	-12.6	▲2.7	28.5	38.5	▲10.0	15.0	13.5	1.5	96.7	91.0	5.7
3月	上旬	-0.5	-3.5	3.0	4.3	1.1	3.2	-6.6	-9.3	2.7	14.0	19.5	▲5.5	5.0	5.0	0.0	38.7	37.0	1.7
	中旬	0.6	-1.2	1.8	6.0	3.5	2.5	-5.5	-7.0	1.5	6.5	14.5	▲8.0	3.0	4.0	▲1.0	34.9	46.6	▲11.7
	下旬	3.5	0.4	3.1	9.8	5.7	4.1	-2.5	-5.2	2.7	23.5	12.3	11.2	3.0	4.4	▲1.4	73.6	61.1	12.5
平均または合計		1.2	-1.4	2.6	6.7	3.4	3.3	-4.9	-7.2	2.3	44.0	46.3	▲2.3	11.0	13.4	▲2.4	147.2	144.7	2.5
4月	上旬	5.9	2.6	3.3	11.6	7.5	4.1	0.4	-2.6	3.0	21.5	16.8	4.7	2.0	4.0	▲2.0	43.9	56.0	▲12.1
	中旬	6.1	4.6	1.5	11.4	10.5	0.9	0.3	-1.1	1.4	24.0	14.6	9.4	2.0	4.1	▲2.1	43.6	61.0	▲17.4
	下旬	7.7	7.6	0.1	12.2	14.2	▲2.0	3.4	0.8	2.6	38.5	11.0	27.5	6.0	3.4	2.6	41.9	69.0	▲27.1
平均または合計		6.6	4.9	1.6	11.7	10.7	1.0	1.4	-1.0	2.3	84.0	42.4	41.6	10.0	11.5	▲1.5	129.4	186.0	▲56.6
5月	上旬	10.2	9.8	0.4	16.5	16.0	0.5	3.5	3.8	▲0.3	12.5	26.6	▲14.1	3.0	4.6	▲1.6	62.4	54.5	7.9
	中旬	13.8	12.5	1.3	20.5	18.8	1.7	7.2	6.5	0.7	0.5	23.0	▲22.5	1.0	3.6	▲2.6	82.1	65.7	16.4
	下旬	13.5	15.0	▲1.5	19.6	21.3	▲1.7	7.7	9.1	▲1.4	25.5	25.3	0.2	6.0	4.3	1.7	77.9	76.5	1.4
平均または合計		12.5	12.4	0.1	18.9	18.7	0.2	6.1	6.5	▲0.3	38.5	74.9	▲36.4	10.0	12.5	▲2.5	222.4	196.7	25.7
6月	上旬	15.3	15.4	▲0.1	20.9	21.7	▲0.8	10.1	9.8	0.3	43.5	18.5	25.0	8.0	3.3	4.7	44.6	68.0	▲23.4
	中旬	18.4	16.8	1.6	24.0	22.3	1.7	13.6	12.1	1.5	5.0	34.4	▲29.4	2.0	4.6	▲2.6	64.6	53.8	10.8
	下旬	21.0	17.6	3.4	28.6	23.0	5.6	14.7	13.0	1.7	80.0	29.2	50.8	3.0	4.0	▲1.0	74.5	53.5	21.0
平均または合計		18.2	16.6	1.6	24.5	22.3	2.2	12.8	11.6	1.2	128.5	82.1	46.4	13.0	11.9	1.1	183.7	175.3	8.4
7月	上旬	20.6	20.1	0.5	26.7	25.7	1.0	15.4	15.4	0.0	7.5	47.2	▲39.7	3.0	3.6	▲0.6	74.4	58.9	15.5
	中旬	21.0	21.5	▲0.5	26.0	27.5	▲1.5	17.7	16.7	1.0	75.5	23.6	51.9	6.0	3.6	2.4	29.5	66.4	▲36.9
	下旬	24.3	22.7	1.6	29.5	28.5	1.0	19.9	18.0	1.9	37.0	55.5	▲18.5	4.0	3.4	0.6	56.8	70.3	▲13.5
平均または合計		22.0	21.4	0.5	27.4	27.2	0.2	17.7	16.7	1.0	120.0	126.3	▲6.3	13.0	10.6	2.4	160.7	195.6	▲34.9
8月	上旬	22.1	22.3	▲0.2	26.8	28.2	▲1.4	18.1	17.6	0.5	139.0	70.3	68.7	7.0	3.8	3.2	26.5	60.7	▲34.2
	中旬	23.4	20.5	2.9	29.7	25.7	4.0	18.8	16.4	2.4	10.0	74.2	▲64.2	3.0	5.3	▲2.3	73.8	46.1	27.7
	下旬	25.0	19.1	5.9	31.5	24.8	6.7	20.1	14.5	5.6	3.0	49.0	▲46.0	2.0	5.6	▲3.6	71.7	54.8	16.9
平均または合計		23.5	20.6	2.9	29.3	26.2	3.1	19.0	16.2	2.8	152.0	193.5	▲41.5	12.0	14.7	▲2.7	172.0	161.6	10.4
9月	上旬	21.4	18.6	2.8	28.0	24.6	3.4	15.7	13.4	2.3	16.0	32.0	▲16.0	4.0	4.0	0.0	66.0	56.7	9.3
	中旬	19.5	15.3	4.2	25.4	21.3	4.1	14.7	10.0	4.7	115.5	47.8	67.7	7.0	4.3	2.7	31.1	46.8	▲15.7
	下旬	14.3	13.8	0.5	21.0	20.4	0.6	8.9	8.1	0.8	18.5	30.4	▲11.9	3.0	3.9	▲0.9	49.9	55.8	▲5.9
平均または合計		18.4	15.9	2.5	24.8	22.1	2.7	13.1	10.5	2.6	150.0	110.2	39.8	14.0	12.2	1.8	147.0	159.3	▲12.3
10月	上旬	11.3	11.5	▲0.2	17.1	17.0	0.1	7.2	6.5	0.7	67.0	43.4	23.6	5.0	5.2	▲0.2	38.6	41.2	▲2.6
	中旬	9.3	8.2	1.1	16.1	13.8	2.3	3.8	3.1	0.7	66.0	35.0	31.0	4.0	5.7	▲1.7	50.7	41.8	8.9
	下旬	7.7	6.2	1.5	13.4	11.7	1.7	2.8	1.6	1.2	28.5	39.3	▲10.8	6.0	5.5	0.5	47.4	40.9	6.5
平均または合計		9.4	8.6	0.8	15.5	14.2	1.4	4.6	3.7	0.9	161.5	117.7	43.8	15.0	16.4	▲1.4	136.7	123.9	12.8

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

表3. 農耕期間積算値 (5~9月)

期間	項目	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	降水日数 (日)	日照時間 (hr)
5月上旬 ~	本年	2,899	589	62	886
	平年	2,666	587	62	889
9月下旬	比較	233	2	0	▲ 3

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

2. 作 況

1) 水稻 平年並

事由： 播種は平年より2日早い4月14日に行った。出芽の揃いは良好であった。移植は平年より1日早い5月19日に行った。移植時の草丈は平年より0.8~1.2cm長く、第1葉鞘高は並から0.2cm長かった。葉数と茎数はほぼ平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は平年より0.35~0.48g重かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈は平年並であった。

移植後の5月下旬の気温はやや低く推移し、生育は停滞した。その後の気温は6月上旬が平年並、6月中旬が平年よりやや高く推移し、生育は概ね回復した。6月20日時点の草丈は平年より6.0~7.6cm高かったが、 m^2 当たりの茎数は4~13%少なく、主稈葉数は0.1~0.2枚多かった。

6月下旬の平均気温は平年より高く、日照時間も長かったことから、生育は進んだ。幼穂形成期は平年より2日、止葉期は4~5日、出穂期は5~6日それぞれ早かった。穂揃は良好であった。茎数は平年並から4%少なく、出穂が早まったため草丈は平年より5.9~8.5cm長く、主稈の止葉葉数は0.1~0.4枚少なかった。

7月下旬以降の平均気温は平年並からやや高く経過した。稈長は平年より「ななつぼし」で1.5cm短く、「ゆめぴりか」で2.0cm長く、穂長は並から0.7cm長かった。 m^2 当たり穂数は5~7%少なかった。

8月下旬の平均気温はかなり高く、登熟期間の平均気温は高く推移したため、成熟期は平年より9日早く、登熟日数は3~4日短かった。「ゆめぴりか」で倒伏が一部発生した。稈歩合は平年より1.7~2.7ポイント高かった。一穂粒数は「ななつぼし」が4.8%少なく「ゆめぴりか」が5.3%多く、 m^2 当たり稈歩合は「ななつぼし」が7.1%少なく「ゆめぴりか」が平年並であった。登熟歩合は平年より1.5~3.7ポイント高かった。

精粒重は「ななつぼし」と「ゆめぴりか」で各々平年比97%、101%であった。屑米歩合は平年より「ななつぼし」が0.8ポイント低く、「ゆめぴりか」が0.7ポイント高く、精玄米千粒重は「ななつぼし」が0.5g重く、「ゆめぴりか」が平年並であった。精玄米重は「ななつぼし」が679kg/10a、「ゆめぴりか」が645kg/10aで、各々平年比99%と102%であった。玄米の検査等級は「ななつぼし」が1等で平年よりやや優り、「ゆめぴりか」が2等中で平年並であった。

これらのことから、本年の作況は「平年並」である。

表4. 水稻の生育および収量

品種名		ななつぼし			ゆめぴりか			
項目 / 年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月.日)	4.14	4.16	△ 2	4.14	4.16	△ 2	
	移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
	幼穂形成期 (月.日)	6.21	6.23	△ 2	6.22	6.24	△ 2	
	止葉期 (月.日)	7.07	7.11	△ 4	7.07	7.12	△ 5	
	出穂期 (月.日)	7.16	7.21	△ 5	7.15	7.21	△ 6	
	成熟期 (月.日)	8.29	9.07	△ 9	8.30	9.08	△ 9	
	穂揃日数 (日)	6	8	△ 2	7	8	△ 1	
	登熟日数 (日)	44	48	△ 4	46	49	△ 3	
	生育日数 (日)	137	144	△ 7	138	145	△ 7	
移植時	草丈 (cm)	14.7	13.5	1.2	14.4	13.6	0.8	
	葉数 (枚)	4.2	4.1	0.1	4.3	4.2	0.1	
	茎数 (本)	2.0	1.9	0.1	2.0	2.0	0.0	
	第1葉鞘高 (cm)	2.6	2.4	0.2	2.4	2.4	0.0	
	地上部乾物重 (g/100本)	4.88	4.40	0.48	4.78	4.43	0.35	
	地上部乾物重/草丈	0.33	0.32	0.01	0.33	0.33	0.00	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.2	8.0	0.2	8.4	8.3	0.1
		7月20日	10.0	10.1	▲ 0.1	10.2	10.6	▲ 0.4
		止葉葉数	10.0	10.1	▲ 0.1	10.2	10.6	▲ 0.4
	茎数 (本/m ²)	6月20日	467	535	▲ 68	573	597	▲ 24
		7月20日	726	723	3	820	853	▲ 33
	草丈 (cm)	6月20日	45.3	39.3	6.0	44.2	36.6	7.6
7月20日		88.3	82.4	5.9	89.7	81.2	8.5	
成熟期	稈長 (cm)	68.2	69.7	▲ 1.5	68.0	66.0	2.0	
	穂長 (cm)	16.7	16.7	0.0	17.4	16.7	0.7	
	穂数 (本/m ²)	650	682	▲ 32	741	799	▲ 58	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	49.4	51.9	▲ 2.5	45.6	43.3	2.3	
	m ² 当たり粒数 (×千)	32.1	35.3	▲ 3.2	33.8	34.6	▲ 0.8	
	稔実歩合 (%)	96.6	94.9	1.7	94.7	92.0	2.7	
	m ² 当たり稔実粒数 (×千)	31.0	33.4	▲ 2.4	32.0	31.7	0.3	
	同上比 (%)	93	100	▲ 7	101	100	1	
	登熟歩合 (%)	90.3	86.6	3.7	84.4	82.9	1.5	
	粒摺歩合 (%)	82.0	80.3	1.7	78.6	78.3	0.3	
	屑米歩合 (%)	1.6	2.4	▲ 0.8	4.5	3.8	0.7	
	精玄米千粒重 (g)	22.8	22.3	0.5	22.7	22.7	▲ 0.0	
収量	藁重 (kg/10a)	626	656	▲ 30	606	632	▲ 26	
	精粒重 (kg/10a)	824	852	▲ 28	816	806	10	
	精玄米重 (kg/10a)	679	688	▲ 9	645	634	12	
	収量平年比 (%)	99	100	▲ 1	102	100	2	
	検査等級 (等)	1	1下	—	2中	2中	—	

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶年）、平成29年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥：成苗培土Hを約1.43 (kg/箱) 充填、
成分量 N 0.5、P₂O₅ 1.0、K₂O 0.8、MgO 0.2 (g/箱)、
置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 10.0 (g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9 (kg/10a)、堆肥 1000 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R4年播種) 良

事由： 播種は平年より1日早い9月15日に行った。出芽期は平年より2日早い9月24日であった。越冬前の葉数はやや多く、草丈は平年並で、茎数は平年より多かった。

根雪始は平年より8日遅く、根雪終は平年より10日早く、積雪期間は平年より18日短い121日であった。雪腐病発病度は平年より低く、越冬茎歩合は高かった。越冬後の草丈は平年より長く、茎数は平年より多かった。

根雪終が早く、また4、5月の気温が平年並からやや高く推移したことから、出穂期は平年より4日早い5月31日となった。草丈は平年より長く、茎数は平年より多かった。

その後6月中旬から下旬の気象が高温多照で経過したため、成熟期は平年より4日早い7月11日となった。なお、6月29日および7月11日の豪雨により試験区の一部が倒伏した。成熟期の稈長は平年より長く、穂長は平年並で、穂数は多かった。

子実重は781kg/10a (平年比152%) で平年を上回った。容積重、千粒重および原粒蛋白含有率は平年より低かった。検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表5. 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.15	9.16	△ 1
出芽期 (月.日)		9.24	9.26	△ 2
出穂期 (月.日)		5.31	6.04	△ 4
成熟期 (月.日)		7.11	7.16	△ 5
越冬茎歩合 (%)		119.5	106.7	12.8
雪腐病発病度		13.8	17.3	▲ 3.5
葉数(枚)	令 4年10月20日	4.6	4.3	0.3
草丈 (cm)	令 4年10月20日	18.2	18.0	0.2
	令 5年 5月20日	55.9	42.7	13.2
	令 5年 6月20日	98.4	88.4	10.0
茎数 (本/m ²)	令 4年10月20日	741	633	108
	令 5年 5月20日	1232	916	316
	令 5年 6月20日	802	562	240
成熟期	稈長 (cm)	90	78	12
	穂長 (cm)	8.5	8.6	▲ 0.1
	穂数 (本/m ²)	751	452	299
子実重 (kg/10a)		781	515	266
同上平年比 (%)		152	100	52
容積重 (g/L)		787	842	▲ 55
千粒重 (g)		39.8	42.5	▲ 2.7
蛋白質含有率 (%)		8.5	9.2	▲ 0.7
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、収穫年における平成28年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 やや良

事由： 播種は平年より2日遅い4月20日に行った。播種後の遅れを反映して出芽期も平年より2日遅かった。5月中旬および6月中旬が高温・乾燥で推移した影響を受け、出穂期は平年より1日早かった。5月中旬および6月中下旬の高温・乾燥により、草丈はやや短く推移し、稈長は平年より短く、穂長もやや短かったが、穂数は平年を上回った。成熟期は平年より3日早かったが、出穂期も1日早かったことから登熟期間はほぼ平年並であった。

穂数が多かったことから子実重は平年比116%と多収であり、蛋白質含有率は平年並であったが、千粒重は平年を大きく下回り、容積重もやや軽かった。検査等級は平年並の1等であった。したがって、今年の作況は「やや良」である。

表6. 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		4.20	4.18	2
出芽期 (月.日)		5.03	5.01	2
出穂期 (月.日)		6.17	6.18	△ 1
成熟期 (月.日)		7.25	7.28	△ 3
草丈 (cm)	5月20日	19.8	22.5	▲ 2.7
	6月20日	75.7	82.0	▲ 6.3
茎数 (本/m ²)	5月20日	579	671	▲ 92
	6月20日	792	735	57
成熟期	稈長 (cm)	82	97	▲ 15
	穂長 (cm)	7.8	8.4	▲ 0.6
	穂数 (本/m ²)	603	503	100
子実重 (kg/10a)		521	448	73
同上平年比 (%)		116	100	16
容積重 (g/L)		799	826	▲ 27
千粒重 (g)		35.0	39.3	▲ 4.3
蛋白質含有率 (%)		11.5	11.7	▲ 0.2
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、平成28年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

4) 大豆 良

事由： 播種は、平年より1日早い5月18日に行った。播種後に適度な降雨があったことから出芽期は平年より2日早い5月30日となった。主茎長は平年より長く、主茎節数は平年並であった。

6月中旬から下旬の気象が高温多照で経過したことから、開花期は平年より6日早い7月7日となった。開花期の主茎長は平年に比べ長く、主茎節数は平年並で、分枝数は多かった。なお、6月29日および7月11日の豪雨により試験区の一部が倒伏した。

開花期が平年より早かったこと、8月下旬から9月上旬の気温が高温で推移したことから、成熟期は平年より9日早い9月8日となった。成熟期の主茎長は平年よりやや長く、主茎節数および分子数は平年並で、着莢数は多かった。

子実重は459kg/10aで平年比115%と多かった。百粒重は30.8gと平年より軽く、屑粒率は0.9%と平年よりやや少なかった。検査等級は2等上であった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表7. 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.18	5.19	△ 1
出芽期 (月.日)		5.30	6.01	△ 2
開花期 (月.日)		7.07	7.13	△ 6
成熟期 (月.日)		9.08	9.17	△ 9
主茎長 (cm)	6月20日	17.4	13.0	4.4
	7月20日	62.3	54.7	7.6
	8月20日	63.4	59.1	4.3
	9月20日	61.3	58.3	3.0
	成熟期	61.3	58.3	3.0
主茎節数 (節)	6月20日	3.9	3.7	0.2
	7月20日	10.0	9.6	0.4
	8月20日	10.4	10.2	0.2
	9月20日	10.3	10.2	0.1
	成熟期	10.3	10.2	0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	7.4	5.6	1.8
	8月20日	7.5	6.4	1.1
	9月20日	6.3	6.1	0.2
	成熟期	6.3	6.1	0.2
着莢数 (個/株)	8月20日	93	84	9
	9月20日	107	77	30
	成熟期	107	77	30
子実重 (kg/10a)		459	400	59
同上平年比 (%)		115	100	15
百粒重 (g)		30.8	33.6	▲ 2.8
屑粒率 (%)		0.9	1.4	▲ 0.5
検査等級 (等)		2上	2中	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

5) 小豆 不良

事由： 播種は平年より2日遅い5月25日に行った。播種の遅れを反映して出芽期も2日遅く、開花期も平年より1日遅かったが、8月中下旬の著しい高温により成熟期は11日早かった。

生育期間中は土壌水分が確保されたことから主茎長および本葉数は平年をやや上回って推移し、最終的には全面倒伏したものの、主茎長は平年より長く、主茎節数、分枝数および着莢数は平年並であった。しかしながら、登熟期間が短く百粒重が平年より軽かったことから、子実重は平年比83%と低収であった。なお、屑粒率は平年並で、検査等級も平年並の2等中であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表8. 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.25	5.23	2
出芽期 (月.日)		6.11	6.09	2
開花期 (月.日)		7.25	7.24	1
成熟期 (月.日)		9.03	9.14	△ 11
主茎長 (cm)	6月20日	5.0	4.4	0.6
	7月20日	30.6	24.0	6.6
	8月20日	67.4	61.8	5.6
	成熟期	76	69	7.0
本葉数 (枚)	6月20日	1.0	0.7	0.3
	7月20日	8.7	7.5	1.2
	8月20日	13.2	12.5	0.7
主茎節数 (節)	成熟期	13.5	13.5	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	5.6	5.4	0.2
	8月20日	5.9	6.0	▲ 0.1
	成熟期	5.9	6.2	▲ 0.3
着莢数 (個/株)	8月20日	61	58	3
	成熟期	52	54	▲ 2
子実重 (kg/10a)		291	350	▲ 59
同上平年比 (%)		83	100	▲ 17
百粒重 (g)		11.4	14.2	▲ 2.8
屑粒率 (%)		4.1	4.1	0
検査等級 (等)		2中	2中	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

6) ばれいしょ やや不良

事由： 植え付けは平年より1日早い5月9日に行った。萌芽期は平年と同日であり、開花期は平年より2日早い程度であったが、6月中下旬の高温・乾燥の影響を受け、茎長は平年より短かった。その後、7月上旬から8月上旬にかけての圃場の過湿および8月中旬の高温・乾燥により、枯ちょう期は平年より7日早かった。

上いも数はやや多かったが、塊茎肥大が劣り上いもの平均重が軽かったため、規格内いも重は平年比92%であり、7月中旬から8月上旬の日照時間が少なかったことからでん粉価も低かった。

したがって、今年の作況は「やや不良」である。

表9. ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.09	5.10	△ 1
萌芽期 (月.日)		5.28	5.28	0
開花始 (月.日)		6.21	6.23	△ 2
枯凋期 (月.日)		8.20	8.27	△ 7
茎長 (cm)	6月20日	31.8	32.7	▲ 0.9
	7月20日	40.9	47.1	▲ 6.2
上いも数 (個/株)	7月20日	9.6	8.7	0.9
	8月20日	11.4	10.2	1.2
上いもの平均重 (g)	7月20日	64	76	▲ 12
	8月20日	84	101	▲ 17
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2733	2901	▲ 168
	8月20日	4254	4517	▲ 263
でん粉価 (%)	7月20日	12.9	14.5	▲ 1.6
	8月20日	13.9	15.2	▲ 1.3
収 穫 期	上いも数 (個/株)	11.4	10.2	1.2
	上いもの平均重 (g)	84	106	▲ 22
	上いも収量 (kg/10a)	4254	4748	▲ 494
	同上平年比 (%)	90	100	▲ 10
	中以上いも収量 (kg/10a)	3606	4273	▲ 667
	同上平年比 (%)	84	100	▲ 16
	規格内いも収量 (kg/10a)	3606	3906	▲ 300
	同上平年比 (%)	92	100	▲ 8
	でん粉価 (%)	13.9	14.8	▲ 0.9

注1) 平年値は前7か年中、平成28年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。